

報道関係各位

2025 年 7 月 3 日
第一園芸株式会社

「夏のわくわくキッズフェス 2025」東京ドームシティ プリズムホールに出展
夏休みの自由研究の題材や家族と一緒に楽しく学べるワークショップ
生花を再利用したドライフラワーの花飾りづくりを開催

花と緑に関する事業を展開する第一園芸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山村勝治、三井不動産グループ）は、7 月 19 日（土）、20 日（日）の 2 日間、昨年約 4,000 名の来場者となった東京都文京区東京ドームシティ プリズムホールで開催される「夏のわくわくキッズフェス 2025」（主催：三井不動産株式会社、代表取締役社長：植田俊）に 3 回目の出展をいたします。



昨年のワークショップ

■多様な企業が出展、夏休みの自由研究や親子で楽しみながら SDGs について学べるイベント

本イベントは、「SDGs を親子で楽しく学ぶ」体験型のイベントになっています。各企業の SDGs に関する取り組みについてワークショップなどを通じて、お子さまに体験していただくことができる特別なイベントです。夏休みの親子の思い出作りと合わせて、お子さまが未来の仕事に興味を持ち、SDGs の取り組みを自分ごと化できる学びの場を提供します。

更に 3 回目となる今年は昨年を超える 20 社以上の出展となっていますので、ぜひお子さまとご一緒にご参加ください。

また、翌週末には日本橋エリアでもイベントの展開を予定しており、多くの企業によるお子さまの学びの場を提供しています。

※当社の出展は、東京ドームシティ プリズムホール限定となります。

■第一園芸ブースのご紹介

第一園芸のブースでは、茎が折れてしまったり花びらが欠けてしまった花など、様々な理由で販売する商品として扱えなくなってしまった生花をドライフラワーに加工し、そのドライフラワーを再利用したワークショップを開催します。ガラスのシリンダーにカラフルなドライフラワーを詰め込んで、長く楽しむことができる素敵な花飾りを制作します。

一度は使うことができなくなってしまったものでも、手を加え工夫することで私たちの日常生活も環境も豊かになるということを体験し、学んでいただけるワークショップです。

さらにブース内では、第一園芸の SDGs への取り組みをパネル展示でご紹介、アートフラワーの装飾なども予定しています。

お子さまの豊かな発想と未来へのつながりをぜひこの機会に体験してみてください。

※当社のワークショップは事前予約制のため、定員になり次第受付が終了となります。



オリジナルデザインの花飾りイメージ



昨年の様子

■「夏のわくわくキッズフェス 2025」東京ドームシティ プリズムホール概要

【日時】2025 年 7 月 19 日（土）、20 日（日）1 部・2 部入替制

・1 部：11:00-14:00 ・2 部：14:30-17:30

【場所】東京ドームシティ プリズムホール（東京都文京区後楽 1-3-61）

【主催】三井不動産株式会社

【申込・参加費】

○&BIZ 会員・WORK STYLING 会員・&well 会員含む対象の三井不動産グループサービス会員(※)

公式 HP 経由で予約受付中、参加費無料（会員 1 名あたり同伴者 7 名まで）

(※)三井のすまい LOOP 会員・三井ショッピングパークポイント会員・MGH Rewards Club 会員・TD ポイント会員

○一般

公式 HP 経由で予約受付中、1 グループ(8 名まで) 2,000 円/（定員に達した場合販売終了）

【公式 HP】<https://and-biz.jp/kids-festival/2025/>

【問い合わせ先】夏のわくわくキッズフェス事務局 info@sdgs-fes.com

■第一園芸株式会社 概要

第一園芸は、花と緑のプロフェッショナルとして創業 127 年を迎える、三井不動産グループの企業です。店舗やオンラインショップでの個人/法人向け商品の販売、婚礼装花、オフィスビルや商業施設などの都市緑化や公園・庭園などの造園・管理を手がける緑化事業、季節の空間装飾事業など、幅広い事業を展開しています。今後も第一園芸は花と緑に囲まれ豊かで潤いのある、そして持続可能な社会の実現を目指して挑戦しつづけます。

所在地：東京都品川区勝島 1 丁目 5 番 21 号 三井物産グローバルロジスティクス勝島 20 号館

代表者：代表取締役社長 山村勝治

創業：1898 年（設立 1951 年）

資本金：4 億 8 千万円

株主：三井不動産株式会社（100%）

URL：<https://www.daiichi-engei.jp/>

第一園芸公式 Facebook：<https://www.facebook.com/daiichiengei/>

■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ & インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の 6 つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針策定」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/
- ・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsuifudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>